

## 政策課題研究 6

# 持続可能な琵琶湖・滋賀の社会像とその実現方法に関する研究

持続可能な滋賀社会（CO<sub>2</sub> 排出量を主とする環境制約のもとで人々が感じる豊かさを最大化する社会）の構築に向けて、人々が感じる豊かさを指標化し、各種施策の豊かさに対する効果を評価していく必要があります。このため、県民アンケート等を通じて、「自然とのつながり」や「地域の活性化」、「安全安心」など、人々が感じる豊かさを構成する要素を抽出し、豊かさを表す指標（以下「豊かさ指標」という。）を構築します。

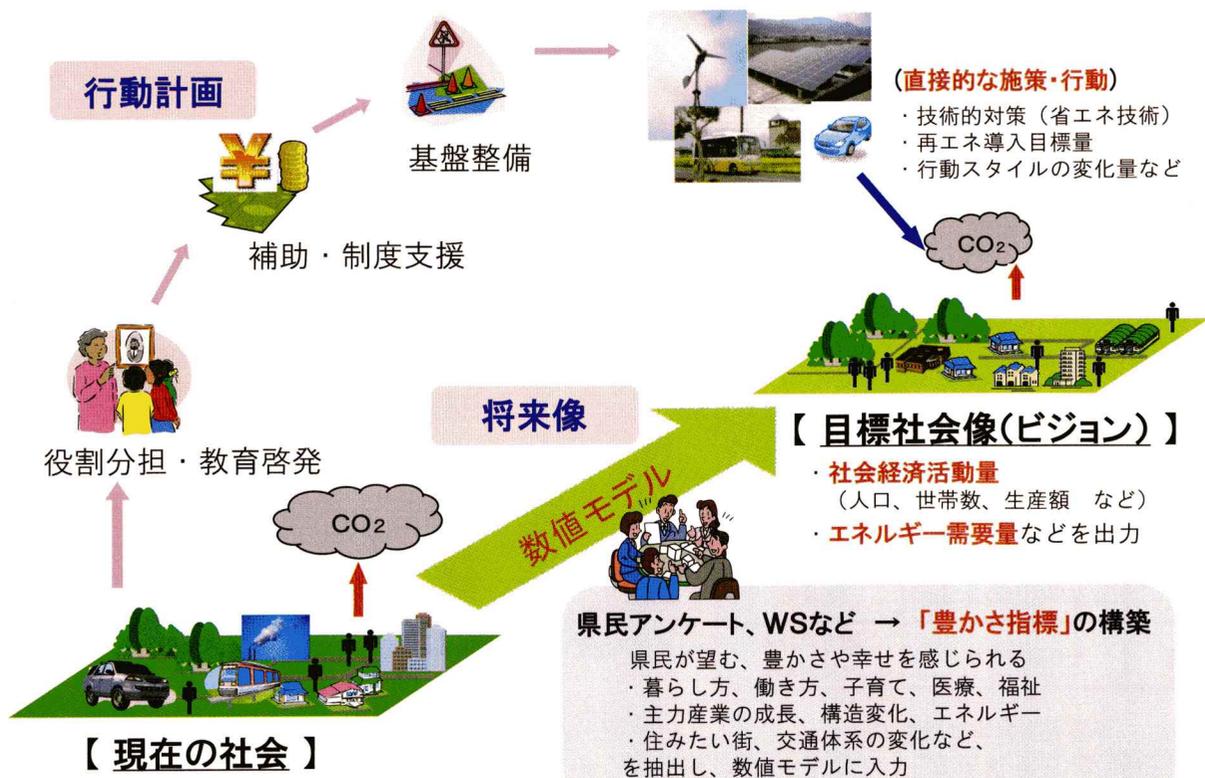
また、本県における豊かさ指標を支える重要な要素として、特に「琵琶湖」と「地域エネルギー」に着目します。具体的には、琵琶湖について、その健全性を窒素やリンなどの物質循環と生態系の関係から評価するとともに、地域エネルギーについて、本県における地域資源の有効活用の観点から、木質バイオマスを中心とした再生可能エネルギーの導入可能性を評価します。そして、これらの評価結果をふまえ、2つの要素と豊かさ指標の関係を把握します。

さらに、構築した豊かさ指標を活用し、多様な主体の参画のもとで地域の目指すべき将来社会像を描くとともに、その実現に向けた各主体の行動計画作成を支援します。

### <サブテーマ>

- ・住民参加による地域エネルギーシステム評価手法の確立
- ・琵琶湖・集水域の水質・生態系評価手法の構築
- ・豊かな滋賀社会実現のための行動計画作成手法の確立

### 【目指すべき将来社会像と行動計画の作成】



**【現状における課題】**

東日本大震災に伴う社会や環境の変化  
↓  
人々の豊かさに対する意識や  
社会のあり方に対する考え方の変化  
↓  
今日の生活・社会のありようを  
見つめ直し、変革していく必要性

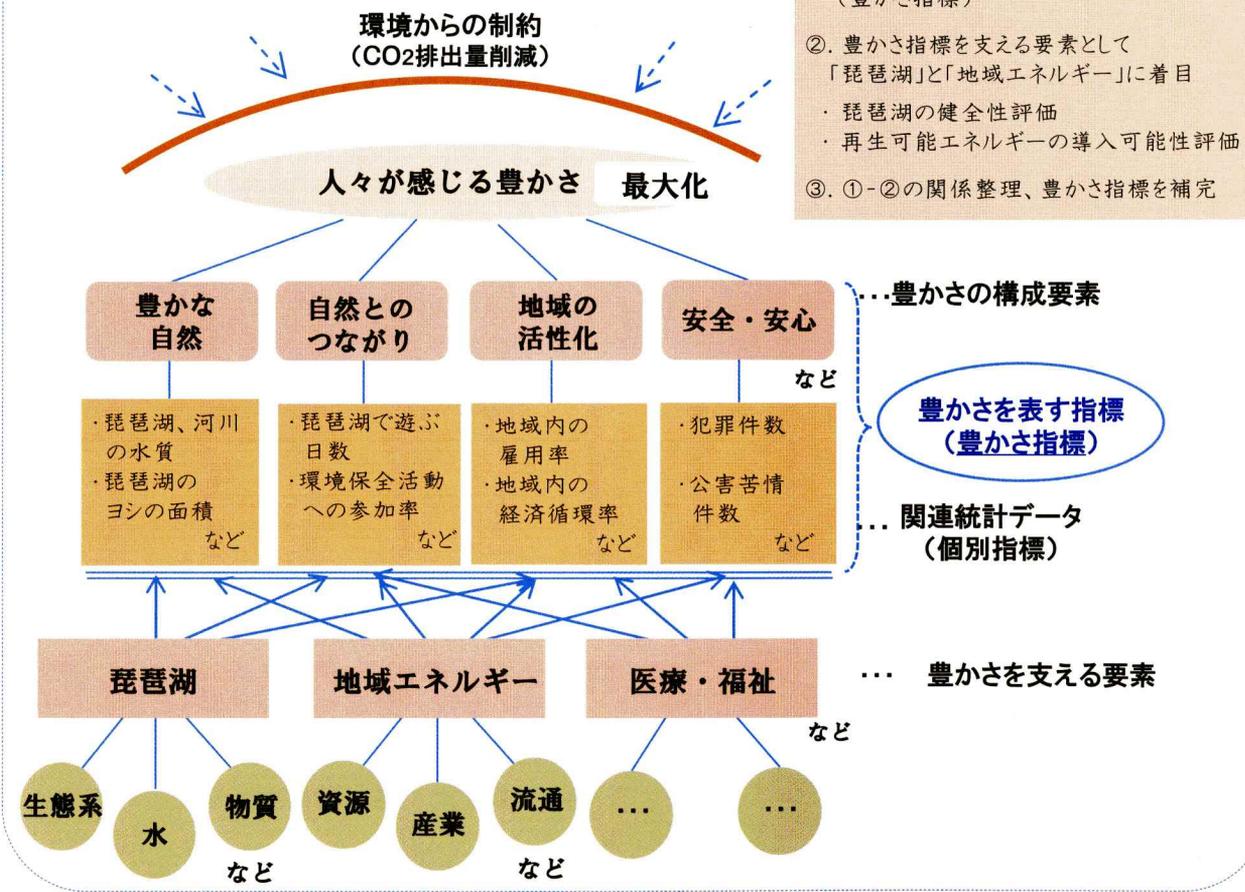
**持続可能な滋賀社会の構築へ** = CO<sub>2</sub>排出量を主とする環境制約のもとで人々が感じる豊かさを最大化する社会

- 【課題】**
- (1) 人々が感じる豊かさとは何か？
  - (2) 豊かさを最大化する社会をどのように実現するか？

**【課題解決に向けた対応】**

**(1) 人々が感じる豊かさとは？**

**【豊かさ指標の概念図】**



- ①. 豊かさを表す指標を構築 (豊かさ指標)
- ②. 豊かさ指標を支える要素として「琵琶湖」と「地域エネルギー」に着目
  - ・琵琶湖の健全性評価
  - ・再生可能エネルギーの導入可能性評価
- ③. ①-②の関係整理、豊かさ指標を補完

**(2) 豊かさを実現するためには？**

各主体の  
行動計画

地域における  
目指すべき  
将来社会像

- ④ 目指すべき将来社会像と行動計画の作成支援

